

CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2016年春号

CJM 70th Anniversary Celebration

アルバータ州カルガリー市

2016年6月25日(土)

CJM年次総会/コンファレンス

6月24日、25日

カルガリー日系福音教会
グレースポイント・フェローシップ

SUNNYSIDE CAMP 2016

7月31日ー8月6日

サニーサイド・クリスチャン・リトリート・センター
アルバータ州シルバンレイク (Red Deer, ABより16キロ西)
詳細はマリー・ハセガワまで



1942

私は、1942年の春の日に目に止まった、古代預言者の言葉忘れることはないでしょう。

“山に登り…神殿を建てよ。わたしはそれを喜び、栄光を受ける…わたしはあなたたちと共にいる…恐れてはならない。”

私はバンクーバーの自宅の台所で、開いた聖書を前にしてひざまづいていました。そして喜び、しかし厳粛な気持ちで立ち上がりました。主が語りかけて下さっていたのです。その語りかけが私の進むべき方角の確かな道しるべとなりました。神は私が家や教会、全ての慣れ親しんだ環境を後にし、住居や生活を奪われ、コートニーやスロカン川の細い谷間の仮住まいに送られた日本人を追うように示して下さいました。

(マーガレットの証しの書き出しー CJM ヒストリースケッチ1978年より) *

北東クリスチャン修養会 2016

2016年4月29日～30日

場所: スカボロー・ミッションズ
2685 Kingston Road,
Scarborough, ON M1M 1M4
<http://www.scarboromissions.ca/>

連絡先: 岩井曜子 416-429-4151
メール: yoko-iwai@sympatico.ca

The CJM REPORTER is published semi-annually by the Canadian Japanese Ministries. News items, reports, testimonies and notices of events are welcomed by the editors. Next publication, October 15, 2016. Published in Toronto, ON

CO-EDITORS:

Nori Kanashiro 56 Wakefield Cres., Toronto, ON M1W 2C2 Tel: 416-321-5831 Email: nbkan11@gmail.com
Rev. Edward Yoshida 3650 Kingston Rd. PH-09, Toronto, ON M4C 2C4 Tel: 416-261-4302 Email: esyoshida@sympatico.ca

JAPANESE TRANSLATION: Yumi Ijichi, Minako Ebisuzaki, Marie Fuki, Miki Nakano

YOUTH IN ACTION Editor: Marie Fuki Email: marie.fuki@yahoo.com;

CJM Website: www.CJMin.com

ノリ・カナシロ

2016年は、CJMにとって重要な節目の年です。この活動が1946年に正式に組織されてから70年になりますが、その間の思い出を語る事ができる人も、今ではわずかになっています。

2004年に召天された、創設者であるマーガレット・リッグウェイ姉は、1941年に始まった太平洋戦争以前の1930年代初期にすでに日曜学校で日系の子供たちへの働きをされていました。

6月25日(土)に開催される70周年記念祝会は、スライドショーや証しによって過去を振り返るとともに、主が私たちにもたらしてくださるであろう将来のビジョンを思い描く時となることでしょう。*



レスブリッジ ミニストリー

CJMが、長きにわたってレスブリッジ日系クリスチャンフェローシップ(LJCF)を援助することができたことを嬉しく思います。この協力関係は2000年に始まり、2015年の終わりまで続きました。

宣教師兼牧師の秋山さとし師は、数年前からパーキンソン病にかかっておられるので、働きを続けることができなくなりました。非常に困難な状況下で、LJCFの委員会は2015年10月末に教会種まきミニストリーの活動を止める決断をしました。CJMにおける宣教師としての秋山先生の正式な任務は2015年12月31日を持って終わりとなりました。

秋山先生と奥様のまり姉、ジョシュ(17歳)、エイミー(15歳)のレスブリッジでの生活が守られるよう、続けてお祈りください。*

回復の希望は主の中に

スタン・ヨコタ牧師

今年80歳になるシニアとして、年齢に関係なく、人々に愛と希望に満ちた情熱を持って神様に仕え続ける気持ちを起こさせ励ます特権が与えられていると感じます。イザヤ書40章28~31節にある真実を、私はクリスチャン人生の中で体験してきました。「主は永遠の神、地の果てまで創造された方。疲れることなく、たゆむことなく、その英知は測り知れない。疲れた者には力を与え、精力のない者には活気をつける。若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。しかし、主を待ち望むものは新しく力を得、」過去70年以上にわたってCJMの働きをしてこられた人たちの証しが、我々日系社会の中での主の力強い存在を証明しています。神様はなんと偉大なのでしょうか！

年を取るにつれ、自分より先に主の御元に行った人々からの知恵を見出します。私はよく過去を振り返ったり回想したりして、トロントという大都市で牧会することにどれほど困惑していたかを思い出します。集会にたった2、3人しか来てくれなくてがっかりしたことが何度もありました。

CJMの理事長だったチャールス・ベイレイ師との会話を思い出します。「がっかりしないで。一般的に牧会は簡単なことではないし、あなたは日系社会という小さな集まりの中で特殊なミニストリーをしているんだから。主を見上げ、主に忠実でありなさい。」こう言ってくれた彼の言葉と励ましが、私に続けていく希望を与えてくれました。

使徒パウロは、「私は、私を強くしてくださる私たちの主キリスト・イエスに感謝をささげています。なぜなら、キリストは、私を忠実な者と認めてくださったからです。」(第1テモテ1章12節)と書いています。それからパウロは、「年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。かえって、ことばにも、態度にも、愛にも、信仰にも、純潔にも信者の模範になりなさい。」(第1テモテ4章12節)とテモテに助言しました。

これらの言葉がお一人お一人の人生の中で響き渡りますように。私たちが、信仰の創始者であり完成者であられるイエス様を見上げ続けていけますように。主があなたがたを祝福し、守り、平安を与えてくださいますように。*

バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1
日曜礼拝一午前11時より(日本語/英語)
福迫徹也牧師(日本語部)
604-517-4578 vjgc@telus.net
Website: www.japanesegospelchurch.com



主任牧師 福迫徹也

カナダ全国にあるCJMに属する教会を通して主イエス・キリストの御名があがめられますことをお祈りいたします。皆さんとの主にある交わりを感謝しております。

3月6日に当教会で年次総会が開かれました。

今年の私たちの年間テーマは「信仰の中で強められる」使徒16:5です。

この年間テーマをもとにして、今年目標と方針を作成しました。その中のいくつかは下記の通りです。

1. 教会員がみことばによって互いに励まし合い、強められ、信仰を成長させる。例：デイリーブレッド、日々のみことば、聖書通読表などを利用し、みことばの交わりを各会や小グループで行う。
2. 教会員が教会の4つの祈り会に参加し、教会のため、互いのために祈り合うことによって信仰を強める。
3. オリジナルの教会テキストを発行し、教会員が個人的、または、スモールグループで学び、各自の信仰を確かなものにする。
4. VJGC Pre-Schoolの開設準備を進めて行く。
5. 第5回イースターセレブレーション(4月1日)、第3回岩手ミッショントリップ(5月9日-11日)、第11回ゴスペルナイト(9月17日)を通して、福音宣教の働きを拡大する。

これらの教会の計画や行事を通して神の国が広められ、主の御名があがめられるようお祈りください。

私たちが神の家族としてCJMの諸教会の働きと祝福を覚えてお祈りしています。*

エドモントン日系キリスト教会

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5
 (Zion Baptist Community Church にて)
 日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)
 牧師: 田村寿宏 電話: 587-986-8161
 Eメール: tamuratoshihiro1981@gmail.com
 教会HP: www.ejcc.ca



田村寿宏 牧師、ひろみ夫人
ひなたちゃん(7)

田村寿宏 牧師
 主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の豊かな恵みと祝福をお祈り申し上げます。本年はCJMの70周年記念をともにお祝いできますことを心より感謝いたします。引き続き神様がCJMの尊い働きを祝福してくださいませように。エドモントン教会においても、

グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB
 (Banff Full Gospel Churchにて)
 日曜礼拝: 午前9時より
 牧師: 榎実
 Eメール: banffgjcc.enoki@gmail.com



榎実牧師、いずみ夫人
ゆいかちゃん(6ヶ月)

榎実牧師
 昨年娘の誕生を通じて、私たち夫婦の生活にも大きな変化が生まれました。それは喜びと同時に大きなチャレンジでもありましたが、スクスクと成長する娘の姿を見る度に主の慰めと恵みに心から感謝する毎日でもありました。我が家の小さな礼拝者は礼拝ではいつも一番の前の席で賛美し祈り(大半は寝ていますが) その姿が教会員の方々にとっても大きな励ましとなっているようで、

神様はあらゆる機会を用いて祝福してくださっています。教会の様々なイベントを通して来てくださって方々が、毎週日曜日の礼拝や、その他の交わりに定期的に参加して下さるようになったことは大きな喜びです。勿論、身体や心に痛みを抱えている兄弟姉妹、愛する家族が召された方々など、試練のただ中におられる方々もおられます。しかしそのような時でも私たちは主にあって互いに愛しあい、労わりあうことを通して、慰めと平安を見出すことができることは大きな感謝です。今年の私たちの教会の年間標語は、第二コリント5章14-15節より「キリストのために生きる」です。特にキリストのために生きる上で、その原動力となる神様の愛と恵みをより深く知ることに関心を当てています。その一環として今年から新たな交わりと聖書を学ぶグループを始めました。メンバーのほとんどは大学生と社会人で、求道者の方々も含まれます。この交わりと学びを通して、求道者の方はキリストに出会うことができますように、またすでにクリスチャンの人はさらに主にあって成長できますようにお祈りに加えて頂けたら幸いです。*

まさにイエス様がマタイの21章で「主は幼子と乳飲み子たちの口に賛美を用意された」(詩篇8)と語るように、彼女の存在を通じて主の栄光がグレースチャーチに現されていることを日々感じています。

2016年の元旦礼拝においては、昨年暮れから結成されたGJCCキッズワイアの歌の発表会を行い、未信者のお子さん達が元気に賛美する姿を見て、彼らの両親の教会に対するイメージなどが徐々に変化してきている様子も伺えました。この年、私たちの教会に与えられている標語はマラキ書4章6節の御言葉である「父の心を子に、子の心をその父に向けさせる」、父なる神と私たちの霊的関係の回復をテーマとして掲げました。昨年、教会として様々な働き、そしてチャレンジに直面する中でこの地の人々における霊的関係の回復の必要性を改めて示され、私たちの信仰の原点でもある父なる神との関係を修復し、建て上げていくことを指針とし歩み出しました。一つ一つの働きが主によって備えられ、整えられている現実を見る時に私たち夫婦に出来る事は一つありませんが、ただ主の恵みにすがり歩みの中でこの地での働きが守られ導かれていることに心から感謝申し上げます。引き続きボウバレーの地における魂の救いと回復の為に覚えてお祈りくだされば幸いです。*

クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB
 (Westview Baptist Church にて)
 日曜礼拝: 午後2時より
 牧師: 谷口洋一 電話: 403-455-0074
 Eメール: ymtaniguchi@hotmail.com
 www.crossoverjapanesechurch.com



ジュリーから受けた祝福
 谷口みゆき

谷

1月にケベックから、往復1万キロのドライブで、日本の宣教師になる準備をされているジュリー・パケットさんという若い女性が私たちの教会に来てくださいました。彼女とは、たった2、3日のお交わりでしたが、彼女から教えられたことは大きなものでした。

まず、この遠距離を、しかも真冬に、それも一人で運転して来られた彼女の大胆さと勇気に敬服します。また、私は、彼女にした質問に対する彼女の答えに大きな励ましを受けました。そ

一つは、「宣教師の皆さんは、経済的サポートを集めるのが大変ですよ。大丈夫ですか?」という私の質問に彼女はこう答えました。

「私の神さまが私の雇用主です。私は神さまに雇われた者です。神さまが私を雇ってくださったのだから、すべての経済的必要も神さまが与えてくださると信じています。だから経済的なことは心配していません。」

二つ目は、スモールグループの集まりのなかで、子育ての話が出たときのことで、

「あなたのように素晴らしいクリスチャンにしっかりと子供を育てあげたご両親の子育てについて何かシェアできますか」と私が聞くとジュリーさんは、

「母は毎週日曜日朝、片道1時間をかけて、私たち子供たちを教会に連れて行ってくれました。礼拝から戻ると、今度、夜にある若者たちの集まりにも、また往復2時間かけてドライブして教会に連れて行ってくれました。彼女は神さまのことをいつも最優先する母親でした。」

願わくば、私たちも彼女の持つこのような前向きなスピリットを持って生きていけるクリスチャンになりたいものだと思います。*

ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC
(First Baptist Churchにて)
日曜礼拝：午後1時30分より
Eメール:kstcyr@telus.net (Kaori St.)



2015年8月末をもって岡本牧師が退職され、ご家族とともに日本に帰国されました。

それ以後は牧師不在となりましたが、礼拝を続けて守ることができています。

礼拝メッセージにはハワイのマキキ・クリスチャン教会の具志堅聖先生の動画メッセージを用いています。

月に1回は牧師や宣教師を他の教会から招いてメッセージいただき、聖餐式も持つことができました。

礼拝に子供が来る時があれば、サンデースクールがあり子供たちが神様のことをわかりやすく学べる時間を提供しています。

礼拝後にはESLのクラスがシュルツ兄により行われ、無料で英語が学べ、先生とも親しく交われる場所となっています。

礼拝に来られた人がESLに参加される場合とESLだけに参加するため教会に来られる場合がありますが、いずれにしても参加さ

れた人がキリスト教に興味を持ち、礼拝にも出られ、求道心が起こされること、救いに導かれることを目的に宣教の願いを持って行われています。

ぜひ、この働きが用いられるように、また献身的に奉仕して下さっているシュルツ兄のためお祈りください。

月1回の婦人の集まりであるサフランの会では楽しい交わりのひととき、週1回の祈祷会ではみことばから学んだことをシェアし、心を一つにして教会のため、また執り成しの祈りを捧げています。

月1回の役員会では、教会運営のために決めなければならない数々のことを話しあって決めています。お引きする先生との連絡、教会行事の計画と準備、予算のことなどです。

牧師がいない中、限られた少ない奉仕者による教会運営は雑務に追われ、手の行き届かないところもありますが、神様の助けと導きによりここまでやって来られたことを感謝しています。

願わくは新しい牧師が与えられることを期待しています。教会に新しく人が加えられ、働き人が起こされ、財政も満たされるよう、キリストを頭とする教会が前進し、神様が知恵と力を豊かに与えてくださるようにお祈りください。

教会のために尊い奉仕をしてくださる方々に心から感謝するとともに一人一人に神様からの豊かな報いがありますように。*

ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9
(Trinity Baptist Churchにて)
日曜礼拝：午後2時より
faith43@shaw.ca (Bruce Yarrow - Leader)
www.wjac.weebly.com



小笠原都子

ウィニペグにも春がやってきました。神様は変わらずにこの小さな群れを覚えてくださり、続けて礼拝を守ることができることに感謝しています。

2016年を迎え、1月の最終日曜日に新年会を行いました。この行事ではポットラック愛餐会にするのですが、新年会だけはお寿司を注文し、皆で存分に味わいながら交わりの時を持つ

のがここ数年の恒例となっています。

3月8日は岡本タツエさんの100歳の誕生日でした。タツエさんは教会の古くからのメンバーで、長い間ピアノ奏樂の奉仕をして下さっていました。ライマー・クラウセン牧師がお祝いの会を企画して下さり、ブルース・ヤロー牧師がこの日のために写真入りの特大カードとお祝いのメッセージ集を作成しお花とケーキを共に携えてタツエさんのお住まいを訪れました。タツエさんは現在は毎週礼拝に出席するのが難しくなっていますが、以前と変わらぬお元気な姿を見せてくださり、素晴らしいお祝いの時を持つことができました。

ここ最近の日曜日の礼拝出席人数は子供も含めて20人にも満たないのですが、時折新しい方もいらっしゃいます。またウィニペグの日本人人口も増えてきているとのこと。ウィニペグでの日本語による福音の灯火を点し続けることができるよう、祈りつつ歩んでいきたいと思ひます。*

メノナイト日本語キリスト集会

12246-100th Ave., Surrey, BC V3V 2X1
(Living Hope Christian Fellowshipにて)
日曜礼拝：午後3時より
牧師：ジェラルド・ニューフェルド
電話：604-596-7928
Eメール: grneufeld5@yahoo.ca



私たちの教会は大人と同じ数の子どもたちに恵まれ、いつもにぎやかで活気にあふれています。当然、アクティビティーも子供たちも参加できるようなことが中心になっています。これから夏に向けては、教会リトリートがキャンプ・スクエアで6月に予定されています。現在礼拝堂を借りている英語部のメノナイト教会ともっと親しくなりたい、と願っているものの、英語が苦手なシャイな私たちはやはり自分たちのグループで集まりがちです。タカさんは父ちゃん・おやじ的な存在ですが、

子どもたちのハートをつかむのが得意で、タカさんの提案と助けによって、今年のリトリートで子どもの人形劇を披露することに挑戦しています。またYouthの信仰の成長を願って、学び会が月2回開かれています。教会の大きな恵みである、朴先生ご夫妻によるサタディナイトのバイブルスタディーは毎週家庭の持ち回りで続けられています。真夜中まで盛り上がっているようです。今年

は月に一度ゲストスピーカーをお招きしていて、バンクーバー内にいらっしゃる他の先生方のお話を聞けるのもお大きな恵みと交わりとなっています。主にある皆さまの教会の祝福をお祈りいたします。*



Pastor Gerald & Rie Neufeld
Rena (15), Irene (9), & Jay (13)

めぐみバプテスト教会

Oakridge Baptist Church
6261 Cambie Street, Vancouver, BC
日曜礼拝: 午後3時より
南順子 604-434-1124
j.stella.minami@gmail.com



南順子

十年以上も牧師先生のいないめぐみバプテスト教会は大牧者であるイエスキリストのみを見上げて信者たちがお互いに励まし合いながら信仰の道を共に歩んで来ました。過去数年間、色々な出来事があり会員の出入もあって現在は少人数で礼拝を守っています。

慈しみ深い神様が私たちの弱さを強め、かつ私たちの霊的な目を広い神の御国に向けてるように忍耐強く導いてくださっています。基本的に下記のように私たちの大牧者であるイエスキリストが養っていただきます。

1. 御言葉の取次ぎを通して (御言葉を食べる) : A. 神さまが毎週日曜日に御言葉を語る先生を送ってくださいます。殆んど英語による説教ですが 日本語の通訳を通して御言葉をいただきます。B. 聖書研究

研究: 礼拝前に説教者による約一時間のQ&Aの聖書研究があって、五月からAplogetics (弁証論) の入門を学ぶ予定です。

2. 祈り会を通して (御言葉を呼吸する) : 毎週水曜日の朝に祈られた課題はカナダ政府から未信者の方々までの神様との会話です。

3. 宣教サポート (主イエスキリストの大命令を実践する) : A. 地元のバプテスト教会と提携してアフリカのルワンダ国にいる宣教師家族を援助します。この宣教師家族は難民地域に医療施設を建て医療を通して福音を広めています。B. 他のバプテスト教会と提携してベトナムの田舎にあるいくつかの教会を援助します。



Isao & Junko Minami
Leaders at Megumi Baptist

4. 家族や友人への伝道 (御言葉を伝える) : 福音を伝えることは牧師や宣教師に頼ることはありません。すべてキリストに従っていく神の子供たちに与えられた最高の任命です。

教会が小さくてもキリストに従っていくなら神に喜ばれ、用いられるでしょう。どうか私たちが主の再臨に目を向けて絶えず御言葉に従っていけるように。2016年間聖句はミカ書6:8です。”主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。”*

トロント日系福音教会

301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6
教会電話: 416-335-5428
日曜礼拝: 午前11時より(日英両語)
佐藤明男牧師(日本語) 416-495-1534
ケビン・ウエタ牧師(英語) 647-298-6422
Website: www.jgct.com



ミッシェル・ウエタ

宣教を目的とした時間管理

時間。私たちはみな、時間は貴重なものだと思います。しかし、本当に時間を貴重だと受け取り始めるのは、親になった後だと私は最近感じています。教会での様々な活動や奉仕、家族、そして子どもたちと過ごす時間、子どもたちの習い事への送り迎えなど、一日の予定がすっかり埋まってしまう毎日です。



ケビン牧師、ミッシェル夫人
大輝くん(1)、清美ちゃん(3)

私たちの教会では最近、自分たちの毎日の生活の流れにミニストリーを組みこんでいくことについてのメッセージが話されています。使徒の2章44節から46節にはこうあります。「信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。そして毎日、心一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、・・・」イエス様の公生涯を覚えるとき、イエス様はミニストリーのための時間と弟子たちと過ごす時間とを分けず、ミニストリーに弟子たちを巻き込んで一緒に行っていたことが分かります。それを私たちは生活の中にどのように適用したらよいのでしょうか? 私にとってそれは、忙しい中ミニストリーのために新たに時間を割くということではなく、自分の生活のリズムの中にミニストリーできる機会を組み込んでいくということ、例えば食事と一緒にしたり、一緒に買い物に行ったり、子供と一緒に遊ばせながら話したり、毎日のやらなくてはいけないことの中に自分が届いていきたい思いを与えられている人を招き入れ、一緒にやっていくことです。例えば、最近私は近所に住んでいる人達にもっと届いていきたいという思いが与えられているので、子供を遊ばせる時間に近所の人を招いて一緒に遊ばせたりしています。ティム・ホートンで少し勉強しようと思うのなら、それにクラスメイトを誘う、教会礼拝のあとに昼ご飯を食べに行くなら、教会の新来会者を誘って一緒に行く。自分からどんどん誘い、自分の時間を他に人と分かち合うことに惜しまないようにしていく。

このように自分の時間の過ごし方を変えたことは、周りの人との関係の持ち方や、受け身ではなく自分から動くという姿勢のあり方に大きな影響を及ぼしました。ほかのクリスチャンと共に時間を過ごすことによって、分かち合い、お互いを励ましあい、感化しあうことが出来ます。また、私は最近、ノンクリスチャンの日本人ママたちと時間を過ごすことがありますが、それは教会やクリスチャンに対して理解してもらうのに、役に立っていると信じます。

もし、あなたが、あなたの忙しい毎日の生活の中にどうやって宣教を取り入れていけばいいのか考えているのなら、信仰の歩みをもう一歩踏み出し、あなたの生活に周りの人を招き入れましょう。神様が私の信仰、また私の周りの人との関係を成長させてくださっていること、さらに、私が宣教を念頭においた生活をしていこうとする中で、足りないと思っていた時間が何倍にもなっていて増やされていること、それらはすべて大きな祝福です。*